

田畠輪換による飼料作り

水田酪農も漸次多頭化し、裏作飼料作物または畦畔草のみでは自給飼料が不十分です。そこで水田の一部はある期間畠地にして飼料生産を行なう即ち田畠輪換が盛んになります。

一 輪換畠で飼料を作るときの注意

* 排水を良好にすること

畠地に輪換しても排水が悪いと牧草や飼料作物の生育が悪く、また水田の雜草がいつまでも残ります。

* 耕耘整地を十分に行なうこと

輪換畠は普通の畠にくらべて土壤が固りやすく、そのため、発芽が不良になつたり、初期生育が遅れたりします

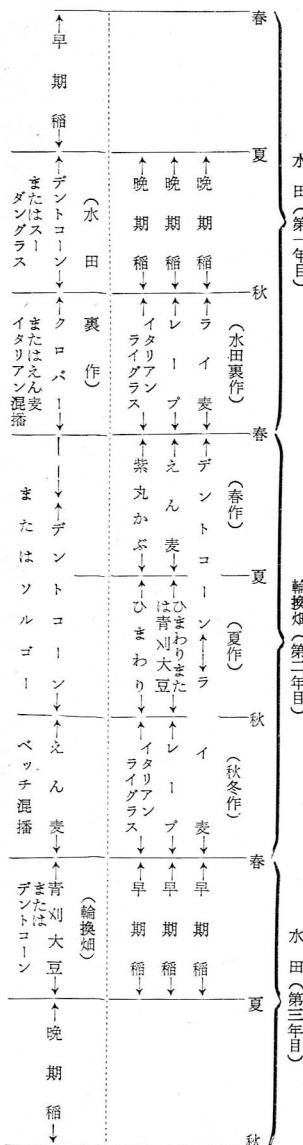
* 土壤の酸性をなおすこと

水田土壤は酸性度が強くなっています。酸性が強いとため科の作物は育ちません。普通一〇kg当たり、炭カルを二〇〇kg施すこと。

* 暑い時期に灌水が出来るよう

暖地では夏には高温と乾燥で牧草が弱って生育が衰えますが、この時期に時々灌水してやります。また冬の灌漑も寒さから牧草をまもり、春の生育を早めますから、水田当時は同様に流入灌漑のできるようにしておきます。

輪換畠での飼料多毛作付体型の例



○放牧地とする場合
狭い面積から、多くの飼料を生産する場合の形を例示す

二 輪換畠での飼料栽培の一例

○採草地とする場合

水稻 → (輪換畠一年目) 玄米牧草混播 → (輪換畠二年目) 牧草 → (輪換畠三年目) 牧草 → (輪換畠四年目) 放牧牧草 → (輪換畠五年目) デントコーン → (六年目に水田還元) 水稻 → (七年目水田) 水稻

○連続多毛作とする場合

水稻 (早期稻、牧草中まき) → (輪換畠一年目) 放牧牧草 → (輪換畠二年目) 放牧牧草 → (三年目夏水田還元) 晩期水稻

* 病害虫を防ぐこと
また、とくにラデノクロバーが多くなると、ウリハムンモドキ、ノハラナメクジ、オカモノアラガイ等の害虫の発生が見られるので、刈取後、一〇kg当たり、二〇~八〇kgの消石灰を二~三回散布する。

田畠換算に利用したい優良牧草

田畠輪換の飼料作物栽培基準表

赤クロバーパネスコットは菌核病、炭疽病、暑熱に強いケンランドが最適。また、初期生育早く、耐暑性もあり、再生力旺盛で短期間に多収の出来るペネスコットは田畠輪換用に有利。

メドウフェクス
温潤に強く、寿命も長く、早春より初冬まで他牧草に負けず、また圧倒をもせず、緑葉を生産する理想的な同伴牧草です。

酸性に強く、湿地にも強く、多少の停滞水にもまけないアルサイククロバーは輪換圃用に生まれたクロバード子。多又品种

ペレニアルライグラス（マンモス・ペレニアル）

一 種として 四倍体を説作して 下さい
バーシームクロバー（エジプシアンクロバ

旺盛 在来種に比して三〇・四〇%增收の優良新品種でベーシームと共に一〇ヶ月当り〇・五kg程度混播し初期収量の増加

別名
冬のルーサンと称し
暖地ではルーサンの休眠している間でも生育を続ける生育旺盛な一年生まめ科牧草。播種後早く収量をあげるために是非混播(一〇九前後)を。

かぶ（雪印改良紫丸かぶ）
とくに三ヶ月以内の短期間には雪印改良
紫丸かぶが有利です。

稻ワラの利用効率を高めるために

稻
ラデノクロバー 三六^{キロ}
はデントコーン青刈五^{キロ}
と同等の栄養価となりま
す。ラデノクロバーはそれ程蛋白含量が高く、しかも上手につくりますと一〇kg当たり
一五ヶ^{キロ}の収量を挙げることもできます。作り易く多量の蛋白生産を期待出来る
第一の牧草です。

最も安く、入手の容易なイナワラを高度に利用しようとする方は、ラデノクロバー
を組合せて利用しましょう。転換畑の様に湿り勝ち、或いは高温時の灌水出来る處
では一層生産を高められます。

播種量は单播では〇・五kg、なるべくライグラス等の混播がよくライグラス一・〇kg
にラデノクロバー一〇・二五ヶ^{キロ}が理想的な草地作りが出来ましょう。